

令和元年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	いちご低温カット栽培における極晩生品種「そよかの」の特性			
[要約] 極晩生いちご品種「そよかの」は、低温カット栽培において、収量が奨励品種「北の輝」より多い。また、大果で商品果の揃いに優れる。果実糖度や酸度は「北の輝」と同等であるが、硬度は「北の輝」より低い。草勢が強く、立性で、ランナー増殖性にも優れる。						
キーワード	いちご	低温カット栽培	極晩生	園芸技術研究部 南部園芸研究室		

1 背景とねらい

現在、本県におけるいちごの低温カット栽培（半促成栽培）では、平成8年に野菜・茶業試験場盛岡支場で育成された「北の輝」が広く普及しているが、より収量の多い品種が期待されている。本県が共同研究により育成した露地・半促成栽培向け極晩生いちご品種「そよかの」は、従来品種より多収で商品果の揃いに優れる有望品種であるため、その品種特性を紹介する。

2 成果の内容

(1) 来歴

「そよかの（旧系統名：イチゴ盛岡 36 号）」は農研機構東北農業研究センターにおいて、「豊雪姫」に「さちのか」を交配し、本県と東北農業研究センター、青森県、秋田県、山形県との共同研究により育成された品種である。

(2) 低温カット栽培における特性の概要

- ア 草勢は強く、立性で大株となり、ランナー増殖性に優れる（表1）。
- イ 収量性は「北の輝」より優れる（表2）。
- ウ 商品果率や商品果1果重は「北の輝」より高い（表2）。また、2L以上の大果の割合が「北の輝」より高く、商品果の揃いに優れるうえ、障害果の発生割合が「北の輝」より低い（表4、5、図1、2）。
- エ 果実糖度、酸度は「北の輝」と同等である。一方果実硬度は「北の輝」より低い（表3）。
- オ 果形は円錐形で、果皮は明赤色であり、外観は良好である。果肉色は淡赤で、瘦果深度や光沢は中程度である（表5、図2）。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 本品種は令和元年7月4日に出願公表となったため、種苗会社での取り扱いは令和3年以降に開始する見込みである。苗の購入を希望する場合、令和2年度については南部園芸研究室に問い合わせる。
- (2) 本成果は、発泡スチロール栽培槽を用いた高設栽培での結果である。土耕栽培及び露地栽培への適応性は東北農業研究センターの試験研究成果を参考にする。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

いちごの低温カット栽培を行う地帯の指導者

(2) 期待する活用効果

低温カット栽培における品種選定の際の一助となる。

5 当該事項に係る試験研究課題

(H25-03-1000) 地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定 [H25～R3/県単]

6 研究担当者 鈴木 朋代、漆原 昌二

7 参考資料・文献

- (1) 平成25～28年度試験成績書（南部園芸研究室）
- (2) プレスリリース「晩春～初夏の端境期に収穫できる大粒イチゴ新品種「そよかの」

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 生育特性

	草姿	草勢	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉身長 (cm)	小葉幅 (cm)	分けつ (個)	ランナー 発生数(本)
そよかの	立性	強	39.2	31.9	11.5	9.2	3.2	21.0
北の輝	中間	中	32.4	28.3	9.3	8.0	3.3	16.5
豊雪姫 (参考)	立性	やや強	38.6	33.5	10.1	8.9	3.0	14.6

注1) データは3か年(2015年、2017年、2018年)の平均値。調査は5月に実施(ランナー数のみ8~9月)。

表2 月別商品果収量

	商品果収量(g/株)						商品果 果数(個)	商品果率 (果重%)	商品果 1果重 (g)	総収量 (g/株)	
	4月	5月	6月	7月	8月	合計					
そよかの	22.9	574.2	87.5	168.5	69.8	923.0	66.8	86.6	13.7	1057.1	b
北の輝	1.1	336.8	138.9	135.1	37.8	649.7	58.1	75.5	11.2	855.5	a
豊雪姫 (参考)	16.9	416.7	190.3	123.8	28.5	776.3	58.5	84.9	13.3	912.4	a

注1) データは3か年(2015年、2017年、2018年)の平均値。総収量の異なる英小文字間には、Dunnett法により5%水準で有意差あり。

表3 果実特性

	糖度 (Brix, %)	酸度 (クエン酸値, %)	赤道部硬度 (φ6mm, gr)
そよかの	7.6 a	0.63 a	458 b
北の輝	7.9 a	0.64 a	577 a
豊雪姫 (参考)	7.2 a	0.75 a	422 b

注1) データは3か年(2015年、2017年、2018年)の平均値。

注2) 異なる英小文字間にはSteel法により5%水準で有意差あり。

表4 障害果発生割合 (2019年)

	種浮き果 (果数%)	裂果 (果数%)	鶏冠果 (果数%)
そよかの	0.1	0.2	3.8
北の輝	2.9	7.4	9.9
豊雪姫 (参考)	-	0.2	2.3

注) 算出方法は(障害果数/全果数)×100

表5 果実特性 (達観調査)

	果形	果皮色	果肉色	瘦果深度	光沢	商品果の揃い
そよかの	円錐	明赤	淡赤	中	中	優
北の輝	短円錐	赤~濃赤	赤	浅	やや強	やや劣
豊雪姫 (参考)	短円錐~円錐	明赤~赤	淡赤~赤	やや深	中	中



図2 供試品種の果実 (左:そよかの、中央:北の輝、右:豊雪姫 (参考))

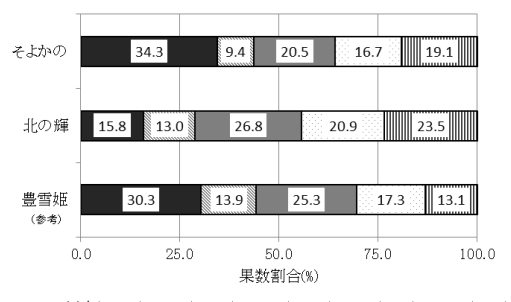


図1 商品果の規格内訳

注)規格は「岩手県青果物等標準出荷規格」(北の輝)に準ずる。3L、2Lは選別基準の1粒重量が同値であるため、まとめて2L以上と示す。

【ハウス内の温度管理】無加温ハウスにおける低温カット栽培の低温遭遇量の基準に従い、低温遭遇量が300時間になるまで側窓を開放し、低温遭遇量が700時間を経過した後に内張カーテンを使用し保温した。
 【採苗・育苗】採苗は7月下旬、9cmポリポットに市販の育苗培土を充填し、挿し苗方式で行った。
 【栽植様式】培地はヤシ殻。栽植様式は2015年作が畝間160cm、株間25cm、1条植え(ダブルベンチ)とした。2017~2018年作は畝間100cm、株間25cm、2条植え(シングルベンチ)とした。肥料はタンクミックスF&Bを用い、芽数制限や摘花は行わなかった。